



こやま かずのり
誠和会 小山 和典 議員

校給食センターの統合に向けた工事は、令和7年度中に完了する予定です。

財源については、国からの交付金や起債、基金等を活用しています。

今後は、同様の機能を持つ施設を複合化・集約化することにより、効率的で効果的な施設の適正配置を実現していきます。

ふるさと納税

問 令和6年度のふるさと応援寄附金受入額の推移と取組内容を伺います。

答 総合政策部長 令和7年1月末現在の寄附額は3億221万円（前年比2億2773万円増）であり、寄附受入件数は7819件（前年比4672件増）です。

物価高の影響により、ふるさと納税を活用して生活必需品等を返礼品として希望された方が多く、お米や卵の定期便、さまざまな野菜等に多くの寄附がありました。

問 今後の返礼品の発掘計画について、具体的にどのようなものを考えているのか伺います。

答 総合政策部長 市商工会や観光協会、農業団体等と連携強化を図り、特に、お米や野菜、果物、お肉、海産物等の新たな返礼品の充実に努めるとともに、定期便の種類を増やしていきたいと考えます。

海水浴場

問 開設された市内5か所の海水浴場の入込客数を伺います。

答 産業振興部長 令和6年度の海水浴場別入込客数は左表のとおりです。

問 入込客数の増加している海水浴場に注力するため、開設する場所の集約化が必要と考えますが、市の見解を伺います。

答 産業振興部長 費用対効果の観点からも海水浴場の集約に向けた検討は非常に重要と考えます。

海水浴場名	入込客数（前年比）
本須賀	56,822人（16,385人↗）
白幡・井之内	5,465人（1,785人↗）
小松	1,360人（621人↘）
中下	2,110人（1,890人↘）
殿下	10,720人（2,515人↗）

令和6年度入込客数

また、集約を行った後の活用方法も大きな課題です。夏場だけでなく、一年を通して観光客を誘致できるように、観光資源としてどのように活用していくか、併せて検討が必要と考えます。

小松地先市有地残土問題

問 本年3月で3年が経過しますが、いまだに搬出どころか土壌検査も終わっていません。この問題にかかる調査の進捗状況と今後の対策を伺います。

答 建設環境部長 現地の住環境の保全のため実施している事業として、草刈り業務、測量業務、水質調査業務、放射能濃度調査業務、排水対策工事、監視カメラ設置工事が完了しています。土壌検査業務は現在分析中であり、本年3月中に結果が判明する予定です。

なお、土砂の飛散防止対策は、現地の状況等を総合的に判断し、令和6年度中の執行は見送ることとしました。

今後は、土砂の処分・利活用や保安林に配慮した跡地利用を検討します。

問 本年5月から千葉県全域でも盛土規制法が始まると県の発表がありました。当該市有地はその規制対象となるのか伺います。

答 都市整備課長 規制開始に伴い、一定の規模を超える盛土・切土、もしくは土砂の仮置きを行う場合には、原則、千葉県知事の許可が必要となります。

今後、土砂の搬出計画にあたり、市が当該地を防災用地として取得したことを踏まえ、取扱いを千葉県に確認していきたいと考えます。

【その他の質問】 成田空港に関する四者協議会の協議内容 防災分野のデジタル化を目的とした被災者支援システム導入 成東駅南口線の駅前広場と国道126号を結ぶ都市計画道路事業の進捗状況

令和7年度当初予算（案）

問 予算規模は過去最高額を更新することになりますが、この状況について市長の見解を伺います。

答 市長 一般会計予算は、歳入歳出263億9000万円（前年比5億7000万円増）を予算計上しています。財政調整基金の繰入れは12億4000万円（前年比2億6000万円減）となりました。

過去最大の予算規模となったことは、物価上昇や賃上げ方針に伴う人件費や労務単価の上昇によるもので、厳しいながら致し方ないと考えます。

公共施設の集約化

問 令和6年度中に行った公共施設の統廃合の実績とその財源、また、今後の適正配置計画を伺います。

答 総務部長 令和6年度中に統廃合が完了する公共施設はありませんが、現在進めている成東および山武学



いしかわ かずひさ
誠和会 石川 和久 議員

令和7年度当初予算(案)

問 市財政の見通しや課題について伺います。

答 財政課長 少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少などにより、歳出の拡大に見合った税収の増加は非常に困難な見通しであり、さらには、令和7年国勢調査による人口の数値が、その後の地方交付税の算定に影響することが懸念され、財政調整基金の繰入れを必要とする状況が続くものと思われま

す。健全な財政運営の実現には、歳入規模に応じた持続可能な予算規模の見極めと、歳入に見合った歳出への転換が大きな課題とされており、令和7年度には長期財政推計の見直しなどを行いながら、将来を見据えた適正な財政規模への転換に取り組んでいきます。

成田空港について

問 成田国際空港周辺対策交付金の活用状況を伺います。

答 総合政策部長 主な活用状況として、①民家防音工事に係る補助事業、②騒音下の各地区に対する補助事業、③防音対策が施された公共施設の維持管理事業、④対象地域内の市道や農道の整備費などに充当しています。

そのほか、当該交付金のうち、教育・医療・福祉等への活用を用途とする「地域振興枠」分については、公共交通確保事業や外国語学習などの子育て学習事業のほか、移住定住事業などにも充当しています。

道路整備について

問 成東駅北側整備の進捗状況について伺います。

答 都市整備課長 都市計画道路の計画変更に向けた関係機関協議を継続しています。なお、関係機関の一つとなる千葉県警察との協議については、令和6年度中の完了を目指しています。

問 今後のスケジュールを伺います。

答 都市整備課長 関係機関協議と並行して、総合政策部で実施予定の産業用地検討調査により土地利用の可能性を調査するよう検討しています。

これまでの関係機関協議において、成東駅北側の土地利用方針策定の必要性が指摘されているところであり、成東駅北側道路となる和田新泉線および成東駅北口線の計画変更のため、調査実施を考えています。



いまがわ かずひろ
誠和会 今川 和弘 議員

防災備蓄品

問 現在、市が管理している備蓄品の内容を伺います。

答 総務部長 備蓄倉庫の中には、飲料水、食料、救急品、簡易トイレ、生理用品、おむつ、ストーブ、卓上ガスコンロとガスボンベ、電池等を備蓄しています。

その他、市が一括して管理しているものとして、発電機とガソリン、投光器、扇風機、毛布、ルームテント、簡易ベッド、感染対策用物品(マスク、手袋、フェイスマスク等)、ブルーシートや土のう等を備蓄しています。

問 備蓄食料の選択基準や考慮事項、購入方法を伺います。

答 総務部長 主要となるアルファ米の保存期限が約5年であることから、市内の備蓄倉庫を5つに区分し、5か年のローテーションで入替えを行っています。そのため、食料品(乳幼児用の液体ミルクや離乳食は除く)の

保存期間は5年以上のものを選考しています。また、アレルギー対応食品の備蓄にも配慮しています。

これらのことを踏まえ、年1回、一般競争入札により購入しています。

問 平常時にこそ、各家庭や個人単位でさまざまな状況を考えておくことが、一番重要であると考えます。

そこで、災害時の発電機の活用方法を市民の方々に周知することを提案しますが、市の見解を伺います。

答 総務部長 災害時に小型発電機等を活用できれば、停電時の在宅避難生活を良好な環境で送れると考えます。

また、発電機の活用場面の多くは、保有者自らが使用することが想定されますが、保有者の住宅が停電せずに、近隣の住宅や社会福祉施設・医療施設等で停電が発生している場面においては、発電機の貸し出しが可能であれば在宅避難等の環境向上、かつ二次災害の防止につながると考えます。

今後、ホームページや広報紙等により、災害時における小型発電機の活用方法を周知していきます。

災害時の 発電機活用事例

- ❖照明、テレビ、冷蔵庫、炊飯器など家電の稼働
- ❖携帯電話の充電
- ❖地下水くみ上げによる風呂やトイレの使用
- ❖電動車いすや電動シニアカーの充電
- ❖在宅医療としての吸引機や人工呼吸器の稼働